

平成 22 年 5 月 17 日現在

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2007 ～ 2010

課題番号：19530630

研究課題名 (和文)

自分描画法に関する臨床基礎研究～思春期・青年期への取り組み

研究課題名 (英文)

A Study of Clinical Psychology for the adolescence Based on the Self-Portrait Method (SPM).

研究代表者

小山 充道 (名寄市立大学・保健福祉学部・教授)

研究者番号：20170409

研究代表者の専門分野：臨床心理学

科研費の分科・細目：心理学・臨床心理学

キーワード：自分描画法、思い、思春期・青年期

1. 研究計画の概要

本研究は自分描画法研究 (SPM) の第 2 段階にあたり、質的分析に照準をあてる。研究目的は①思春期・青年期の“今の思い”を本法で把握可能かどうかの検討、②自分描画法時の対象者の描画行動をビデオで撮影し描画行動の分析を行い、実施後に行う PDI 結果と照合する、③自分描画法実施時の教示内容の検討、④性格傾向との関連をみるため、バウムテストと K-SCT および TAT 結果から分析考察する、⑤質的分析を補完するものとして、思いに関する独自の質問用紙への応答内容について統計を用いた量的分析を行う (SPSS16.0 使用)、以上 5 点にある。このほかにも研究実施にあたって必要と思われる研究を追加しながら、自分描画法研究を展開中。

2. 研究の進捗状況

②おおむね順調に進展している。

(理由) 当初の予定どおり、大学生、高校生、中学生 を研究協力者とし、自分描画法を実施した。その他に、高校では自分描画法をスクリーニングアセスメントして利用可能かどうかの検討を加え、さらに高齢化社会の到来を踏まえて、高齢者からの自分描画法に関する実施協力を得た。研究結果は毎年「日本心理臨床学会」と「日本心理学会」で発表を行っている。

3. 現在までの達成度

本研究テーマの自分描画法は、研究代表者である小山充道の創案により、日本文化を色濃く反映する言葉である“思い”をテーマとしている。自分描画法は、“思い”を把握するためのアセスメントとして活用を図り、日

本の心理臨床にひとつの有用な道具を加えることを目的としている。それゆえ、学会報告で多くの研究者からの声をいただくことを優先してきた。現在、数多くの資料をもとに、論文化を進めているところである。

4. 今後の研究の推進方策

小学生から高齢者までの自分描画はすでに収集を終え、現在分析検討中である。今後は、未設定領域であった『幼児の自分描画法』研究に取り組み、最終的には自分描画法からみた人間の成長発達と、自分描画法を用いた心理療法の可能性について研究を深める予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕 (計 5 件)

①小山充道、心理臨床最前線～心理アセスメントの現在、日本心理臨床学会雑誌「心理臨床の広場」、依頼原稿、第 3 巻第 1 号 (通巻 5 号)、2010 年、印刷中

②小山充道、“思い”の特質～心理療法の視点から、札幌学院大学心理臨床センター紀要、依頼原稿、第 10 号、2010 年、1-17.

③小山充道、多彩な身体症状と就労困難を訴えた男性に対する自分描画法の適用、名寄市立病院医誌、査読有、17 巻 1 号、2009 年、41-48.

④小山充道、自分描画法を用いた高齢者に関する臨床心理学研究～高齢者と大学生の思いの特質、高齢者問題研究、査読有、第 24 巻、2008 年、17-33.

⑤ 小山充道、描画を臨床に生かすには～心理療法における描画の活用、臨床心理学、依頼原稿、第7巻2号、2007年、165-173.

〔学会発表〕(計6件)

① 小山充道、自分描画法における高校生の諸特徴、日本心理臨床学会第28回大会、2009年9月20日、東京国際フォーラム

② 小山充道、自分描画法(SPM)の有用性に関する比較研究—実用性を絡めて、日本心理学会第73回大会、2009年8月28日、立命館大学

③ 小山充道、自分描画法における臨床基礎研究—青年期における特徴、日本心理学会第72回大会、2008年9月21日、北海道大学

④ 小山充道、自分描画法を用いた高齢者に関する臨床心理学研究、2008年9月5日、筑波国際会議場

⑤ 小山充道、青年期の自分描画法、日本心理学会第71回大会、2007年9月18日、東洋大学白山キャンパス

〔図書〕(計1件)

① 小山充道編著、金剛出版、必携臨床心理アセスメント(『自分描画法』所収)、2008年、510頁

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕